

報道関係者各位

「平成 22 年度(2010 年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査」結果の概要について

独立行政法人日本学生支援機構では、全国の大学、短期大学及び高等専門学校を対象に障害のある学生(以下、「障害学生」という。)の修学支援に関する実態調査を実施しました。今回の調査では、障害学生数は 8,810 人(全学生数に対する割合 0.27%)で前回調査より 1,707 人増加しました。在籍学校数も前回調査より 43 校増えて全部で 785 校となり、全学校数 1,220 校の 64.3%となっています。また、卒業生数は 1,180 人で、そのうち進学者は 235 人、就職者は 548 人となっています。(グラフ参照)

※障害学生……身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生。

調査概要及び回収状況

- (1)目的: 障害学生の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2)対象: 大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む。)、短期大学(部)(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。)及び高等専門学校(専攻科を含む。)
- (3)調査方法: 悉皆調査。
各学校が日本学生支援機構のホームページより調査票をダウンロード。回答を記入後、メール添付にて提出。
- (4)調査期日: 平成 22 年 5 月 1 日現在
- (5)回収状況: 回答校数 1,220 校(前年度 1,224 校)(回収率 100.0%(同 100.0%))

